〔第三種郵便物認可〕　昭和七年十月二十五日　磐城新聞　〔火曜日〕　第三千五百六十三號

學生左傾思想對策案

於東京　丹野金吾生

（一）

吾々は最近文部省學生思想問題調査會整理委員報告發表に基く、學生思想對策案の骨子　一、社會の情勢　二、思想界學界の傾向　三、教育の缺陷　四、マルキシズムの性質　五、左傾運動　六、青年の心理　七、境遇及素質に關する凡六項目を上げて、其の何れも徹底せる理論と對策を羅列して、一般の注意を喚起して居る而して吾々は勿論各項目に就て委しく述べたいのであるが當面の問題として、最も適切な輿論の喚起を引く部分、凡ち、マルキシズムとは如何なる性質を有するのであるか、是れを一應理解し、依つて以て、子弟の教育及社會の情勢、青年の指導精神の確立に父兄及その印集の大衆に充分關心を拂ふ可きであると考ふ可きである。然しながら、今紙上にて吾々は尨大なるマルキシズム全体の性質を説く事はとても困難であると同時に、其の一支柱たる哲學的範疇に於てさえも、極めて簡単に述べるの止むなき立場にある事を最も遺憾とする者である。

（二）

學生思想對策案骨子の中にも『マルキシズムの性質と關する對策として、マルキシズムは理論体系が恐備する感あり、且つ現代社會の缺陷を批判する事等は、學生を最も誘惑するものであるから、マルキシズムを批判する態度を取る樣に訓練する事』と發表されて居る。卽ち學生をマルキシズムの批判的態度に訓練する事が、此の對策の本質であるが、是れを如何にして實踐に遷すかは吾々に取つて別な範疇に掘する問題に直さしめるものである。そこで吾々は學生をマルキシズムの誘惑に落し入らしめ却て批判的態度に訓練しなければならぬと云ふ。此の案の本質に對して必然的に起つて來るのは、マルキシズムと云ふイデオロギーの性質と、又此のイデオロギーの對象それ自体に就て、或る程度を極めなければならない事である。又性質と云ふよりも、是れが何を到達として、如何なる理論構成して居るか、吾々は是れを觀察する事によつて体性を有するものは、ブルジョア社會全体に亘つて改正改善の要ある事それで有る現在の政治と云ひ經濟と云ひ、共に左傾原因の第一なりとして今回の報告が示して居るのを見ても、如何に爛熟せる社會であるか、吾々は充分首肯出來る事であらう。

そして吾々は貧富を問はず階級を問はず根強くブルジョア社會に胚胎した、この學生左傾の力が今にして革正せずんば、近き將來に於て必ずやブルジョア社會に或る何物かを反映せざるを得ないであらうと考へるものである。

（三）

對策案全分を通じて普遍的に窺はれるであらうと信ずる者である。其れが爲めには吾々が常に侮蔑の眼を以て非難し攻擊して居た態度を止めて、眞面目なもつと研究的態度を持するならば正に是れが性質を把握し得ると考へるのである、斯く是れが批判も出來得るであらう。

時代警句

○信を人に取らん事難し。人は口に信せずして躬に信じ、躬に信せずして心に信ず……（周易）

信用は心が第一位、躬行が第二位、口は第三位である……

磐城新歌壇

小山田滋選

高木直吉

○朝霧らふ青草原に青駒のいなゝきにつゝ居たりけるかも

○露深き山畑にして嘶くは食み足らひたる草刈の馬

○裏山の木梢に泣けるみん〳〵の聲のとほれるこの夕べかも

岡崎詩朗

○降るとなく照るともなくて此の日頃萇乾しする者のなやまし

仲田ゑい

○佐度おけさよく歌ひたるかの友のさびある聲よ寮舎の窓よ

（友を偲びて）

夜話（童謠詩）

山口正夫

爺さも婆さも

みなおいで
園呂裡の栗が
燒けました

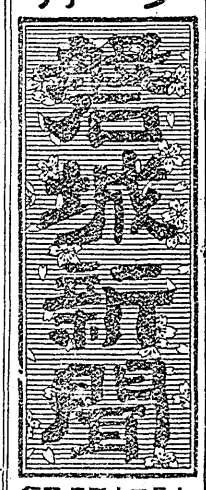
昨夜のつづきを
きかしてよ
雛子が女に
化けたちけ

子供盗られた
德兒は
夜明の墓場で
泣いてたと

煙管はたいて
爺さんは
水ばなちんと
かみました

あしたの朝は
深い霜
節穴さむい
背戸の風。

夕刊



十月二十四日　發行

定價　月ヶ瀬郵便所金五拾錢　郵税金六拾錢
廣告料　一段通常金六拾錢　五段以上一字詰一行金拾錢
發行所　磐城新聞社
電話　編輯部五六四番　營業部五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

△東京亀戸神社創建（寛文二）△國際勞働局世界の失業者千五百萬人と發表す（昭和五）△米國大統領フーヴアー氏、渡米の佛國首相ラヴアル氏と世界不況打開策協議の結果共同聲明發表（同六）

社會の今日

裏富士や雲間がくれに秋の鳶　蛇笏

天高く腹は空つぽきりきりと腹底にしみる酒のよろしさ　渡邊要

童話

可愛相な熊の子（下）

磯上六花作

『イヤだ、坊やは仇を討たねば』

仔熊はかなはぬ迄も母を思ふ一心、やにはに獵師の一人に飛び付きましたがどうして小さな彼が大きな大人二人、然も二匹の犬を連れた者達に勝ち得ることが出來ようと二人の獵師は飛びかゝつて來る仔熊をいとわる樣に拂ひのけますが熊は屈しません何度も〳〵も飛びついて來ますたまらなくなつて二人の獵師は犬と思ひ合せた樣に逃げ出しました。

『逃がさんぞ、逃がさんぞ母の仇』

仔熊は尙も氣强く追駈けて來ます。暫く逃げ廻つた彼等は或る竹林の一角を廻つたのです。とバサツ

『うゝん』

枯葉を强く踏みつけたやうな音と音に何かうめくやうな音がして後は元の靜かな林の中になりました。二人は不思議に思ひながら今來た道を靜かに後戻つて見ました見ますとどうでせう可哀想に今の今まで元氣に

『お母さんの仇を討つのだ』

と云つて追駈けて來てゐましたあの仔熊が、枯笹の上に長く力なく四脚をのばしかすかな血を口からはき出して眠つたやうに靜かに地に横たはつて居たのです。可哀想に仔熊は死んで居たのです。母の仇は到底駄目だ討てぬ事とは知りながらも最後まで否死ぬまで母を思つたのです。

『可哀想にな？　母さんを思ふ餘り遂々自分は死んで行つた、私達は惡い事をした、此の世で一番惡い事を行つた。坊よ？可哀想にな！赦してくれ坊よ前の大事な〳〵お母さんの許に連れて行つてやるぞ』

二人の獵師は我が子をいたはる樣に仔熊をかゝいて親熊の所に來ました、そして柔らかな枯葉の落ちた地面を箇先で堀り始めました間もなく小さな穴が一つと大きな穴が一つ出來上りました、そして二匹の親仔をらしたが、躊躇つてゐる場丁寧にうめてやりました地下に落付いた仔熊は初めて口へ飛び出して狹い露路の樣な横町を板塀に添つて右へ駈けた、裏門のところで外から戻つて來た若者と出會つた、其の男が變な素振りと見てとつて急いで帳場へ駈け込んで來たのお内儀のお勘藏の面色は土の樣になつた。

と其處へばた〳〵と駈け延公はオイ〳〵泣き出した

兩手をくゝし上げられて

講談

お蘭陀お蝶

（165）

渡邊默禪作

布施長春畫

他の從者は本堂側の客殿に居た内儀さんは驚いて豐五郎にそれと告げたところから二人は直に其後を追駈けたのである。

お柳は町の大通りへ出てから追手のかゝつて居る事に心注いた、土地の案内は知らず而も盡中の女の足弱とても逃げ了せられたものでないと落膽しながらも取捉まるまでは氣を引立て一目散に南へ走り續けた、都合のいゝ事には阿蘭陀人見物の崩れで町内はざわ〳〵と人が通る、其の混雜の中に影を紛らして、竹細工やの簞師の店先を走り抜けだら！

お柳は如何にして池之坊を逃走したか

豐五郎等の踏込んだ時が丁度お柳が表の方を通る阿蘭陀人を見に出かけた後でして眠つたやうに靜かに地あつた、此の座敷から廊下へ出て突き當りにある椽側に傳ひに表の二階に行かれる

『それ豐五郎逃がすまいぞ！』

二人は驚いて勘藏に延公を縛り放しにして急いて裏手へ駈け出した。

お柳は如何にして池之坊を逃走したか

豐五郎等の踏込んだ時が

『エッ……裏から逃んだが』

『うゝん』

枯葉を强く踏みつけたやうな音と音に何かうめくやうな音がして後は元の靜かな林の中になりました。二人は不思議に思ひながら今來た道を靜かに後戻つて見ました見ますとどうでせう可哀想に今の今まで元氣に

『お母さんの仇を討つのだ』

と云つて追駈けて來てゐましたあの仔熊が、枯笹の上に長く力なく四脚をのばしかすかな血を口からはき出して眠つたやうに靜かに地に横たはつて居たのです。可哀想に仔熊は死んで居た

『逃がさんぞ、逃がさんぞ母の仇』

仔熊は尙も氣强く追駈けて來ます。暫く逃げ廻つた彼等は或る竹林の一角を廻つたのです。とバサツ

『うゝん』

枯葉を强く踏みつけたやうな音と音に何かうめくやうな音がして後は元の靜かな林の中になりました。二人は不思議に思ひながら今來た道を靜かに後戻つて見ました見ますとどうでせう可哀想に今の今まで元氣に

『お母さんの仇を討つのだ』

と云つて追駈けて來てゐましたあの仔熊が、枯笹の上に長く力なく四脚をのばしかすかな血を口からはき出して眠つたやうに靜かに地に横たはつて居たのです。可哀想に仔熊は死んで居た

ラヂオ
…二十五日（火曜）…
仙台　JOHK
△東京亀戸神社創建
△前六、〇〇　七、〇〇A　ラヂオ體操
△九、〇〇A　氣象
△九、一〇　料理献立（火を使はずに出來る一品料理）佐々木喜代松
日用品値段
△一〇、三〇B　婦人講座（婦人の生活と歌心）清水千代
△正午A　時報　氣象
△後〇、〇五J　俚謠（小原節）越中天尾おわら保存會
△〇、二〇F　三曲（千代の鶯）
△〇、四〇A　ニュース
△〇、五〇　五、三〇A　運動競技（六大學野球リーグ戰試合狀況…慶應對明治第一回戰）
△二、〇〇A　家庭大學講座（明治の文學浪漫派の運動…透谷文學界の一派）
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇　ニュース
△六、〇〇（子供の時間）長唄（小鍛治）
△六、二〇A　コドモの新聞　村岡花子
△六、二五A　英語講座（中等科）田部隆次
△六、五五A　カレント、トピックス　ハロルド、バーマー
△七、〇〇A　ニュース　氣象
△七、三〇A　講演　滿洲國答禮專使謝介石
△七、五〇C　記念講演（信仰の伊藤公）伯爵兒玉秀雄（朝鮮と伊藤公）頭本元貞（朝鮮京城より中繼）
△八、二〇A　常磐津（夕霧伊左衛門）常磐津兼太夫外
△八、五〇A　チエロと管絃樂（新交響樂團練習所より中繼）
△九、三〇A　時報
△九、三一　滿洲より　ニュース　氣象
△九、一〇　料理　鳥松茸
△九、一〇　料理　よせなべ
△九、一〇　料理　其他種々……
△九、一〇　料理　右大々的勉强…（出前迅速）…大蒲燒折壽司詰
△一〇、三〇B　婦人講座（婦人の生活と歌心）清水千代
△正午A　時報　氣象
△後〇、〇五J　俚謠（小原節）越中天尾おわら保存會
△〇、二〇F　三曲（千代の鶯）
△〇、四〇A　ニュース
△〇、五〇　五、三〇A　運動競技（六大學野球リーグ戰試合狀況…慶應對明治第一回戰）
△二、〇〇A　家庭大學講座（明治の文學浪漫派の運動…透谷文學界の一派）
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇　ニュース
△六、〇〇（子供の時間）長唄（小鍛治）
△六、二〇A　コドモの新聞　村岡花子
△六、二五A　英語講座（中等科）田部隆次
△六、五五A　カレント、トピックス　ハロルド、バーマー
△七、〇〇A　ニュース　氣象
△七、三〇A　講演　滿洲國答禮專使謝介石
△七、五〇C　記念講演（信仰の伊藤公）伯爵兒玉秀雄（朝鮮と伊藤公）頭本元貞（朝鮮京城より中繼）
△八、二〇A　常磐津（夕霧伊左衛門）常磐津兼太夫外
△八、五〇A　チエロと管絃樂（新交響樂團練習所より中繼）
△九、三〇A　時報
△九、三一　滿洲より　ニュース　氣象

大塚のサービス
◎野球用（新形）グローブ　ミツト（修繕無料）
◎庭球用（三二年形）ラケツト　定價の一割引
運動會用　ランニング上着とパンツを…
平・田町　電話七十七番
大塚運動具店

醫院開業
私儀去二十三日より左記の場所に於て診療に從事致し候間御眷顧之程奉願上候也
平町字中田町七〇番地電話六九一
山内醫院
醫學士　山内亨吉
耳鼻咽喉科專門

毛糸買時は今
十一月一日から一オンスに付一錢値上げ……！
毛糸は益々高く各製造會社は十月十八日から一ポンドに付二十錢の値上げを發表致しました。ハシモトヤは今月中舊値段で差上げます、どうぞ御早く御求めの程を。
合名會社
田町　ハシモトヤ糸店　電話十四番

産婦人科
花柳病科
午前宅診　午後往診　入院應需
井阪醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

治病器の權威
オキシヘーラー
オキシヘーラーはカクマク、ソコヒ、トラホーム、中耳炎、蓄膿症、盲腸炎、腹膜炎、腎臟病、骨膜炎、脊髓カリエス、ルイレキ、婦人病、等斷じて手術の要なく、心地よく治り、其の他の難症病疾も必ず治癒す。而して治りの早き何れも在來の療法に比して實に數倍何卒御來訪御實驗のほどを。
◎尙當實驗所にては當分眼病の方に限り三日間無料にて治療す、御試しをこふ。
平町田町大通り四九（三二三肉店前）
オキシヘーラー　平實驗所　原田良節

季節料理
鳥松茸
よせなべ
其他種々……
右大々的勉强…（出前迅速）…
大蒲燒折壽司詰
仕出し部
田町　魚榮
電話四二四番

淋藥界の最高權威
無効返金（一日間服効なき時は殘藥引替に全部返金す）
岩里家別府淋藥
一週間…赤箱一金五圓　黑箱一金參圓
世界の名湯別府温泉で名高い。岩里家の家傳祕藥は男女血ウミ、コシケ、淋病淋渴に奇蹟的効果あり、どんな頑固な痳疾でも短時日に根治が出來且つ再發することなく注射や他藥で治らぬ諸賢は最後の藥として迷はず……名藥別府淋藥の御服用に依り幸福を得られん事を希望致します。
別府皮膚藥　金三十錢　金五十錢
天下の名湯別府温泉のラヂウム含有の精に各病醫院及最高學府の處方劑集め大成せる皮膚病特効藥であります、たむし、いんきん、みつむし、なまず、しらくも等其他皮膚病に卓効あり。
九州別府市鶴乃園　岩里天然堂
平町三丁目北裏通り
代理店　渡邊いと
（特約店募集）

內科
一般
醫學博士　難波睦
平町大町新川端（電話五〇二番）
難波醫院

月曜論壇

朗かな人事行政

叢爾たる一小農村に於てすら極めて醜惡なる蝸牛角上の鬪爭を敢てするが常なるに拘らず、實質に於て往々彈力無き市制地を凌ぐ平町に於て、滿場一致何人の反對なく、吾人の信頼する町宰として少くとも土地生え抜きの青沼鉾太郎氏を迎へた事は前伏見町長の退職後僅に五日、岡髮を容れぬ水際立つた詮衡振りから云つて、眞に地方自治團体に於ける此種問題の豪華版として頗昨自ら雄とするに足るものがある、而も主腦部の異動早々人事方面に何等かの動搖を來すのがあらゆる場合に於ての通例否通弊なるに拘らず、當然退職を豫想された酒井助役を其儘現位置に据え置く許りか更に水道課長兼任の優遇を以てしたるが如き、其の朗かなる人事行政は啻に全廳吏員をして安んじて事に當らしめその能率增進上効果甚だ見るべきものあると同時に、徒らに穿き違へた小感情に支配されて進退せぬ海の如き襟度雅懐は、眞に穩健質實なる名町長として吾人三萬町民の信頼を繋ぐに充分なるものがある。蓋くは彌々倍々自重加餐以て勿忙多端なる町治に盡瘁し而して町百年の福祉を開拓されん事を望んで止まない

青沼氏後任管見

有力なる平町の本店銀行を喪つて以來極端なる支店銀行の手締めに殆ど金融の途を塞がれた町民にとつて信用組合庶民金庫こそは差當り唯一無二の金融機關として一般の蒙る便益蓋し絶大なるものある丈けに其の施設計劃宜しきに適すると否とは直に町民の利害に至大の影響を及ぼす事は勿論である、この意味に於て青沼理事長の後任を迎ふるに就ては須く人格明朗虚心坦懐以て利用者の資力信用を檢覈しその最大限度に於て便益を供與する底の識見を有する具眼の士を物色せねばならない、若し夫れ所謂黨派的の偏狹猟介を以てするが加き人物を以てせんか其弊實眞に怖るべきものがあるであらう。

人口選手が善戰健闘
遠來の日立軍を屠る
人氣を煽つた昨日の陸上競技

オリンピックの增田選手以下日立製作所軍の精鋭を迎へ日本選手權保持者たる西田、蒲田兩選手等が心ゆくまで抜きの青沼鉾太郎氏を迎へた事は前伏見町長の退職後僅に五日、岡髮を容れぬ水際立つた詮衡振りから云つて、眞に地方自治團体に於ける此種問題の豪華版として頗昨自ら雄とするに足るものがある、而も主腦部の異動早々人事方面に何等かの動搖を來すのがあらゆる場合に於ての通例否通弊なるに拘らず、當然退職を豫想された酒井助役を其儘現位置に据え置く許りか更に水道課長兼任の優遇を以てしたるが如き、其の朗かなる人事行政は啻に全廳吏員をして安んじて事に當らしめその能率增進上効果甚だ見るべきものあると同時に、徒らに穿き違へた小感情に支配されて進退せぬ海の如き襟度雅懐は、眞に穩健質實なる名町長として吾人三萬町民の信頼を繋ぐに充分なるものがある。蓋くは彌々倍々自重加餐以て勿忙多端なる町治に盡瘁し而して町百年の福祉を開拓されん事を望んで止まない

青沼氏後任管見

有力なる平町の本店銀行を喪つて以來極端なる支店銀行の手締めに殆ど金融の途を塞がれた町民にとつて信用組合庶民金庫こそは差當り唯一無二の金融機關として一般の蒙る便益蓋し絶大なるものある丈けに其の施設計劃宜しきに適すると否とは直に町民の利害に至大の影響を及ぼす事は勿論である、この意味に於て青沼理事長の後任を迎ふるに就ては須く人格明朗虚心坦懐以て利用者の資力信用を檢覈しその最大限度に於て便益を供與する底の識見を有する具眼の士を物色せねばならない、若し夫れ所謂黨派的の偏狹猟介を以てするが加き人物を以てせんか其弊實眞に怖るべきものがあるであらう。

走高跳入山富澤（一六、五）千六百繼走—日立（三分四十秒八）砲丸投—入山青野（一〇、四三）千五百米—日立橋本（四分一七秒二）四百米—入山蒲田（五五秒二）走巾跳—西田（六、六七、五）八百米繼走—日立（三九秒二）

野球は惜敗

大倉に凱歌揚る

當日午前中同所で行はれた大倉對入山の野球試合は十三對九で入山が惜くも一敗地に塗れた

河鈴木組を先頭に四十四チ戰ひを開始したが戰績左の如く決勝に於て仙臺、古河の爭覇となり善戰健闘遂に今回も古河が優勝、三時半閉戰した

Aコート
古河（鈴木、木田）4—1水戸（三浦、松本）
仙臺（本間、大上）4—0東京（篠原、土屋）

準決勝
古河（鈴木、木田）4—2仙臺（本間、大上）

Bコート
平（佐藤、高木）4—2古河（大石、安齊）
仙臺（奥津、宮崎）4—0平（大坪、藤田）
仙臺（奥津、宮崎）4—1平（佐藤、高木）

準決勝
古河（鈴木、木田）6—3仙臺（奥津、宮崎）

決勝は

南町胡摩澤

平青年團野球戰

平町青年分團對抗野球試合は一昨二十二日午後一時から平商グラウンドに於て開催準決勝だけに聲援物凄かつたが南町、胡摩澤が殘り來月七日決勝戰を行ふ事となつた

南町7——3紺屋町
胡摩澤2A—1三丁目

南町決勝に殘る
近日中軟式野球對戰

平軟式野球協會主催第二回大會は昨二十三日午前八時から磐中、平南兩グラウンドに於て開催したが戰績次の如く磐中OB對遞友の勝者對南町の決勝戰は近く開催される

第一回
世界館15—7三丁目
新青3—4高月
エンデン1—5南町
磐青5—1發電
平機5—4常磐

第二回
世界館20—15高月
南町4—0磐青
平機4—5遞友
五丁目4—8A磐中
白銀1—5A磐中
二葉4—2六〇番
磐中OB5—2二葉

第三回
世界館1—4南町

縣下武道大會の代表選手決定
白餘名から選拔の猛者

磐中籠球部慘敗

磐中籠球部は二十二、三の兩日郡山、福島に遠征したが郡山商工に勝つた丈けで左の如く慘敗であつた

郡山商工3—38磐中
福師26—22同
福中30—18同

來月六日福島市で開かれる縣下武道大會の地方豫選は昨二十三日平署演武場で開いたが參加百餘名で代表選手左の如く決定した

弓道—柏原秀藏、小野菊彌　劍道—片寄半三郎、齊藤義藏　柔道—未定

出陳畫三百餘點
訓盲院で公開中の目も絢なる美術の殿堂

磐中X會展覽會は二十二日から磐城訓盲院で開催中であるが出品點數三百點で入賞者左の加し

△マンドリンを持つ女五年鈴木武△靜物五年村山正吉△飛行機五年鈴木仁△港五年水野繁松△靜物五年庄司昇△ブール開き五年佐藤文夫△馬蹄屋四年廣澤榮太郎△光と影四年林武義△靜物三年柏原△進△夜店三年永山利男△居たので適切り自殺したものと大騒ぎしたが醫師の診

四十四チーム中
古河斷然再優勝
昨日の東北庭球大會

磐城軟球協會主催第五回關東北軟式庭球大會は昨二十三日午前九時から磐中ABコートに於て昨年優勝の古江將軍が移駐して既に二百有餘年の年處を經過した

◇土人はこの町を別名でブークイとも言つて居る古名だそうだ、本來のチチハルはこゝから西は二十里嫩江の右岸にあつて康熙年間には火器營なる軍防所を置いたのだが交通の不便水害の憂があるとて云ふのどらへて一度はこゝの軍政署に天下を睥睨するの豪勢振りを示した

◇烏爺がまし　くも日本軍に抵抗したのが禍のもと

滿洲行
藤田中尉
（第二百二信）

◇チチハルは　由來軍事的必要から生れた都市だ、卽ち往年帝政露西亞の北邊侵略に對して建てられた城だ、彼の愛渾も黑爾根も共に同じ理由に基づいて起つた町だ。而して愛渾から黑爾根へ黑爾根からチチハルへと黑龍江將軍が移駐して既に二百有餘年の年處を經過した

◇土人はこの町を別名でブークイとも言つて居る古名だそうだ、本來のチチハルはこゝから西は二十里嫩江の右岸にあつて康熙年間には火器營なる軍防所を置いたのだが交通の不便水害の憂があるとて云ふのどらへて一度はこゝの軍政署に天下を睥睨するの豪勢振りを示した

◇烏爺がまし　くも日本軍に抵抗したのが禍のもと

◇こゝは黑河　に至る驛路に衝り又西に海拉爾へ東西をかこたねばならない敗は呼蘭、南は伯却訥へ通ず殘の將軍となり終つた林少佐の言葉を借りるなら彼の生命もはや旦夕に迫つて居るそうだ、低き馬賊の小頭から身を起した彼れだ、而も一度は天下に名を賣つた武將である。彼は數奇な運命だと奇麗さつぱり觀念し黑河の山奥あたりに卑怯未練な逃げ隱れなどせずに日險あり城內に入るべからず……午後十時には停車場に歸り列車に宿泊すべし』と云ふ命令、薄氣味惡い夜の本線中田驛前旅館に止宿したのを同夜警官にあやしまれ取調べられんとした時又もや行衛不明になつたので二十二日仙臺署に捜索を願ひ出た。

◇鳥爺がまし　くも日本軍に抵抗したのが禍のもと

實る秋
農村チツケス〔云〕
朗かに明くる村の歡樂日
平和の空氣遍滿する秋祭の一日 上

黎明前から打出ざるゝりの一日こそ村民等をして大太鼓、それから日三竿は充分休養を與へ、その笛、やく聞ゆる笛の音、囃子の太鼓の音にも得も謂はれぬどよめき何と朗かな祭典氣快さを感せしめた眞に慰安分である事よ、豐收に微笑む一日ではあつた。

▽　△

年小林芳治△船一年柴田旭雄風景一年松田光一△風景一年小田燦△美友會賞鈴木武

出席三百に達した
平婦人總集會
會長に青沼町長夫人就任

平婦人會總會は昨二十三日午前十時半から平第三校講堂に於て開催したが出席者三百餘名廣田ノブ氏開辭を述べ、國歌合唱、勅語奉讀の演說あり、了つて東京女新總理青沼鋒太郎氏の挨拶あり役員改選の結果會長に青沼セイ、副會長會計選告り二時盛會裡に閉會した

第二校圖書展　平第二校では二十七、八の兩日圖書展覽會を開催する

女教員を脅した男
宅控へ中急に死亡
眞相に就て左右の噂

草野村下神谷杉田鐵五郎斷により心臟痲痺と判明し(三)は本第三小學校教員土たと田みよ(三六)假名—を脅迫し力廉で平署に檢擧され病氣のため二十二日午後六時頃一時歸宅を許されたが昨二十三日午前二時半頃俄に苦悶し始め附近醫師の應急手當を受けたが間もなく死亡した、同人は平常睡眠藥と年林武義△靜物三年柏原してカルモチンを服用して

國民同盟演說會

全日本國民同盟會では二十六日午後六時から平町聚樂館に非常時磐城郡民大會並演說會を開き國民第乏救濟請願に關する決議をなすと

磐女生觀楓　磐城高

女職員生徒一同は二十九日

秋祭の一日

朝陽が山の頂から金鶏を發射すると、その行樂日の曉を告げ渡る鳥が朝の光を浴びて空高く飛んで行く、村民達は此の曉のメッセンジャーの巢立ちを合圖に床を蹴る、顏を洗ふ、然して杵の快音、餅搗く音は靜寂な山間溪谷の奥の奥、底の底まで響き渡るのである。

▽　△

聽て出來上つた重ね餅は神棚へ供へられ、逆盤(?)の反對期成同盟會長早川清久氏外十二名の代表者は今朝出福し縣下組合長と共に縣へ陳情書を出した

鐵道慰安會

平驛及保線區では來月一日から四日迄毎日午前九時より午後三時迄聚樂館に於て現業從事員慰安會を開催するが餘興として曾我迺家天下の五九郎一座の喜劇があ

のぢつちさんが胼胝だらけの掌を合せて五穀豐穰天下泰平の祈願が終へると作男が此の間の雨で夜の目も寢ずに獲つたといふ鮪汁に一頃の勞苦はこゝに癒されて一家一心の妙趣を充分に味ふのである。

鎭守樣の杜からは笛太鼓の音、參詣人も出初めると鰐口の搖られる音も時折聞えて來る。

村道
新設計劃撤回
鹿島の紛糾落着

瀧澱に支障を生ずると云ふ理由に基く鹿島村大字松久須根地內の村道新設反對は既報の如く村當局では部落民の陳情を容れて新設せぬ事に決した

木炭組合陳情　濱三郡木炭同業組合木炭檢査縣移管

危險な小兒の火遊び
昨日飯野で一戸燒失

飯野村中山藥谷四〇石工佐藤ハツ(三九)方から昨二十三日午前九時半頃發火住家一棟を全燒して十時二十分鎭火した損害百五十圓で原因は家人の留守中二男繁雄(六)の弄火から

棋仙の集ひ

昨日の鳥鷺合戰

地方に於ける圍碁同好者から成る棋仙の集會は昨二十三日平町南町川井醫院に於て開催したが出席二十四名

1柳澤今朝市　2宮下秀貫　3佐々木芳一　4額賀廣治　5會田政次郎

謎めいた女の出奔
好間生れの看護婦清水ふみ

好間村大字中好間かつ三女ふみ(二四)は東北大學病院關口外科に入院中の小川の臨機處置等を考査しその某に附添看護中十九日午前十時半ころ無斷外出し東北平機關庫では昨二十三日から七日間の豫定で水戸、平間の運轉競技會を開催中であるが時間嚴守、作業振り接客、消耗品節約、疾走中に附添看護中十九日午前成績を決定すると

第一日　機關手　長谷川清　大峯篤
第二日　大樂峯次郎　坂本知重
第三日　生田目末之助　鈴木武光
第四日　白土長一　玉川政吉
第五日　井上義彥　鎌田喜右衛門
第六日　片桐彌八　新妻弘一
第七日　鈴木八五郎　大和田清吉
　　朶光彌　根本金定

運轉競技
水戸平間
昨日から開始

巷のちり
（世相萬華鏡）

小名濱區長會　二十二日開催町內美化作業傳染病豫防に關して協議した

小名濱町下町洋服仕立業馬上豊(三六)は一昨年十月中玉川村大字島鈴木一から紺サージ洋服の裏返しを依頼され受取りに來ぬのを奇貨として同町土木請負業高橋菜に賣却△同町古港船夫平野安吉(三七)は五日午後十一時頃附近の漁夫谷田部都之吉方で同人と口論末毆打して頭部其他に全治二週間の傷を與へ△同町上明神町大工馬上喜作(二〇)は九月初旬磐城劇場からクラリネット價格十五圓を窃取して同町古物商二階堂猛に賣却△飯野村山崎木炭商加藤春吉(二四)は八月中湯本町寶海留八妻長瀨タケ(六二)に品質を僞つて木炭三十八表を賣却した事發覺此程何れも平署の取調べを受けた

◇狹野助役昇格　箕輪、永戸組合長高萩正一氏滿期に職に依る後任選擧村會は昨二十二日開いたが助役狹野倉太氏の昇格に決した

雨着を失敬　宮城縣鹿島台町日渡二六富田三三夫(二四)は七月十三日平町三丁目久野カツ方に雇はれ中客人のレーンコート價格三十圓を窃取して昨二十三日平署に檢擧された

湯本にチフス　湯本町台字十二ノ七佐藤ツメ(三三)同五人五佐藤ツメ(三三)同利(九)の兩名は昨二十三日腸チフスと決定隔離された

四倉通信

四倉消防檢閱　來月五日同町海岸に於て執行の豫定なりと

町民体育　今や四倉町の海岸行事として多大の体育大會　大氣を呼んでゐる町民体育第三回大會は來月三日明治節をトして同町小學校庭に於て開催すべく準備中であると

第四區兒童競技　北部第四區小學校兒童競技會は明廿五日草野校庭に於て開催すると

雜巾二百枚寄附　四倉町土木請負業溝口元一氏夫人は此程雜巾二百枚を同町小學校に寄附した

夜警部員決定　四倉消防組第三部に於ては去る廿二日幹部會を開催來月一日より來春四月までの夜警部員として林磯吉氏に決定した

棋譜

△一白の人　世話事多く業務に專念嫌き日巧言に注意▲二黑の人當業に直進すべき日他に心を移すは利なし▲三碧の人　凶害ありとも吉事は翌み嫌き日起業開店凶▲四綠の人　生甲ひなき心地ずる日爭論口舌に苦み多し▲五黃の人　運氣閉されて一向に勝目なし盜難遺失注意▲六白の人　消實は福利を產む耐忍精勵を要す文書注意▲七赤の人　運氣良好にして多少の無理も通る奮起せよ▲八白の人　萬事意の如く行はれて努力の功空しからず▲九紫の人　精勵倦む事なければ大發展を遂ぐべき吉日

平町慶弔錄

△出生
久保町二二東京市板橋區下石神井二丁目一三〇五沼田千代吉三女良子五丁目六踏橋久四郎二女陽子

△婚姻
東京市王子區王子町一一〇三藤井義治(三三)仲田町六六廣田スエ(三三)

人事
村農會

井上義彥　鎌田喜右衛門

村農會

田人農事講習會の主催で二十八日午後一時から同村役場で開く

仲間の金を着服　双葉郡大久村大久石元賭博前科一犯夏目寛三郎(五六)は外三名連帶で一昨年九月中農工銀行から金若干を借り受け此程連帶者から預つた返濟金中九十圓を横領費消した事發覺し昨二十三日四倉署に檢擧された

四倉通信

四倉消防檢閱　來月五日同町海岸に於て執行の豫定なりと

町民体育　今や四倉町の海岸行事として多大の体育大會　大氣を呼んでゐる町民体育第三回大會は來月三日明治節をトして同町小學校庭に於て開催すべく準備中であると

第四區兒童競技　北部第四區小學校兒童競技會は明廿五日草野校庭に於て開催すると

雜巾二百枚寄附　四倉町土木請負業溝口元一氏夫人は此程雜巾二百枚を同町小學校に寄附した

夜警部員決定　四倉消防組第三部に於ては去る廿二日幹部會を開催來月一日より來春四月までの夜警部員として林磯吉氏に決定した